

第 20 回九州近世陶磁学会

九州近世陶磁学会では、同学会最後となる第 20 回大会を国際シンポジウムとして下記のように開催いたします。東南アジア関連地域（台湾・フィリピン・マカオ・ベトナム・ラオス・インドネシア）での肥前陶磁出土に関する発表が多く、日本との 17-18 世紀の海上交流を物的証拠より考える最上の機会となります。同学会会員以外でも、誰でも自由に参加できるので、ふるってご参加下さい。

期日：2010 年 2 月 12 日（金）～14 日（日）

場所：佐賀県立九州陶磁文化館講堂（佐賀県有田町 JR 佐世保線有田駅下車徒歩 10 分）

参加費：無料（会員以外は資料代 3 千円）

テーマ：『世界に輸出された肥前陶磁』

近年世界各地で新たに発見された最新資料をもとに、肥前陶磁の海外流通の様相を国内外の会員、研究者が発表する研究会として、3 日間にわたって開催します。九州近世陶磁学会最後の大会として、今後の近世陶磁器の研究発展の礎となることを期します。

2010 年 2 月 12 日（金）

12：00 受付開始

13：00～13：20 総会

13：20～14：50 「世界に輸出された肥前陶磁」大橋康二（佐賀県立九州陶磁文化館）

15：00～15：40 「太平洋を渡った肥前磁器」野上建紀（有田町歴史民俗資料館）

15：50～16：50 ‘Hizen Ceramics excavated from Fort Zeelandia, Tapenken site and Zuoying site in Taiwan’,
王淑津 Wan Su-chin（国立台湾大学）

懇親会（伊万里グランドホテル）

2010 年 2 月 13 日（土）

9：00～10：00 ‘Hizen Ware Found in Ma-gung Harbor, Pescadores and Kinmen’, 盧泰康 Lu Tai-kang（国立台南芸術大学）

10：10～11：10 ‘Hizen Ceramic in Macao’, Roy, Sit Kan-sin（Macao Museum）

11：20～12：20 ‘Intramuros, The Old Walled City of Manila and the Early Ceramic Trade’, Alfredo B. Orogo and Wilfredo P. Ronquillo（National Museum of the Philippines）

（12：20～13：20 昼食）

13：20～14：10 遺物討論会（主に窯跡出土の輸出磁器）

14：20～15：20 ‘Vietnamese Society, and Ceramic exchange between Vietnam and Japan in the 16-18 centuries’,
Nguyen Van Kim（Hanoi National University）

15：30～16：10 「ベトナム発見の肥前陶磁」菊池誠一（昭和女子大学）

16：20～17：00 「ヴィエンチャン旧市街発見の肥前陶磁」清水菜穂（ラオ国立博物館）

懇親会（マルイシレストラン）

2010 年 2 月 14 日（日）

9：00～10：00 ‘Japan-Indonesian Archipelago: The Evidences of Trading Network’, Naniek Harkantining Sih Wibisono（The National Research and Development Centre for Archaeology, Indonesia）

10：10～10：50 「インドネシア出土の肥前陶磁」坂井隆（国立台湾大学）

11：00～12：00 ‘The Introduction of Porcelain in the Netherlands’, Sebastiaan Ostkamp（ADC Archeo Projecten）

（12：00～13：00 昼食）

13：00～13：40 「オランダ発見のイマリー肥前磁器」金田明美（ライデン大学）

13：50～14：30 「メキシコ出土の肥前磁器」田中和彦（上智大学）

14：40～16：00 討論会（80 分）

連絡先：佐賀県立九州陶磁文化館内 家田淳一・川副麻理子（TEL）0955-43-3681 （FAX）0955-43-3324